



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2023

3月17日
(金曜日)

自動車リサイクル業界

人材確保で試行錯誤

休日増やすなど待遇改善推進



BRE関東の日本語教室

自動車リサイクル業界で、現場作業を担うスタッフの確実な人材確保が厳しさを増している。特に少子高齢化が進行する一方で、午後7時以降は多くの新卒者の採用が進む中で、ハーダルが高くなっている。各社は休日を増やすなど待遇改善を進め、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。などをアピールし、新たな人材確保を目指している。

ユーパーツ（清水道悦社長、埼玉県熊谷市）は休日を増やすだけでなく、残業

BR-E関東の日本語教室

日本自動車リサイクル部品協議会の佐藤幸雄代表理事は、「都会の企業が地方の高校にも多くの求人を出すなど、採用競争が非常に激しくなっている」と、ため息をつく。日本自動車リサイクル機構（JAERA）の酒井康雄代表理事は少子高齢化の加速で、「若い人材の確保が難しくなるのはある程度自然な流れ」と指摘する。採用環境がすぐに改善するのは極めて難しいとみられる中、今後も人材確保につながる各社の工夫に注目が集まりそうだ。

している。日本の人が不足する中、積極的に外国人の採用に乗り出すことで、必要な人材を確保する。同社は外国人技能実習生も受け入れており、社内で日本語教室を開くなど定着しやすい環境づくりにも配慮する。

時間の削減を進めるなど働き方改革を急ぐ。週休2日制を導入し、午後7時以降はできるだけ残業しないようにし、職場の魅力を高めて採用拡大に取り組む。また、既存の従業員の生産性向上にも貢献し、離職率の大幅な低下にも成功した。

エンジンのリビルトなどを手掛けるBRE関東（長良辰雄社長、埼玉県越谷市）は、2022年度から国内の専門学校などを卒業した外国人留学生の新卒採用を開始した。2人が入社し、23年度はベトナム出身の4人の採用を予定

日本自動車リサイクル部品協議会の佐藤幸雄代表理事は、「都会の企業が地方の高校にも多くの求人を出すなど、採用競争が非常に激しくなっている」と、ため息をつく。日本自動車リサイクル機構（JAERA）の酒井康雄代表理事は少子高齢化の加速で、「若い人材の確保が難しくなるのはある程度自然な流れ」と指摘する。採用環境がすぐに改善するのは極めて難しいとみられる中、今後も人材確保につながる各社の工夫に注目が集まりそうだ。